

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	日中比較文化論 Comparative Study on Japanese and Chinese Culture		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・人文・社会	授業形態・学期	講義・後期
	対象学生	MS-1, EC-1	必修・履修・ 履修選択・選択の別	選択
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	杉山明・一般科目		
	研究室等の連絡先	研究室：杉山明 管理一般棟3階(内線8196) E mail : a-sugi@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	中国語／東洋史／中国哲学／中国文学		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(4)プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力をを身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育プログラム との関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(B) 地球的視野に 立った人間性の育成, B-2 : 地球上の多様な歴史観・文化・習慣 の違いを理解し, 説明できること」であるが、付随的には「B-1」 にも関与する。		
	授業の概要	伝統的な中国文化とともに現代中国事情を解説する。適 宜, 課題図書も与える。		
	学習目的	文化的偏見を捨て, 今後さらに発展するであろう日中交 流に寄与できる能力を身につける。		
	到達目標	1.. 中国社会の, 日本とは違った側面を理解する。 2. 自国の文化を理解し誇りを持つとともに, 異文化を許 容し尊重する人間性を涵養する。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位 あたり授業時間として15単位時間開講するが, これ以外に30 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員 の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		学士の認定を受けるためには必要な講座なので, その点をよく理 解して受講すること。		
基礎科目		世界史(1年), 政治経済(2), 国際文化論(4), 人間と歴史(5)		
関連科目		国際コミュニケーション演習(専1年), 社会科学概論(専2)		

授業にかかわる情報				
授業の方法		15週を後期に集中して行う。1回の授業の中で、中国文化に関連するテーマひとつを講義する。試験は中間考査と期末考査の2回実施する。レポートも二本課す予定。		
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前期			
	後期	16週 17週 18週 19週 20週 21週 22週 23週 24週 25週 26週 27週 28週 29週 30週	・なぜ中国を学ぶか I 現代中国基礎知識 ・地理と言語、民族等 ・戦後中国の歴史と文化大革命 II 中国人の伝統的思考法 ・国家意識と一族主義 ・中華思想 儒家と道家 ・性悪説と性善説 歴史観 中間考査 III 現代中国の諸問題 ・一人っ子政策と高齢化問題 24週 ・格差社会 25週 ・台湾と香港 26週 ・環境破壊 27週 ・偽ブランド IV 中国企業と日本企業 28週 ・中国企業の現在 29週 ・日本企業と中国市場 30週 ・日中関係の今後	・参考文献の購読(具体的な書名は、授業を通じて適宜指示) ・課題レポートの作成
教科書、教材等		教科書：特になし プリント配付 参考書：中国語学習&異文化理解ハンドブック(アルク)		
成績評価方法		2回の試験の結果が70%，課題レポート2本で30%の比重とする。 課題レポートは、中国語および中国社会をどれだけ理解し、かつ自身とは異なった価値観をどの程度許容する視点を身につけることができたかが評価の基準となる。		
受講上のアドバイス		平素から中国に関係する新聞やテレビ等の報道やニュースに関心を払うことが大切である。遅刻時間が20分を過ぎれば欠課扱いとする。		